

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
薬物乱用・依存者、性感染症患者の HIV 感染状況及び内外の HIV 流行等の動向に関する研究

性感染症患者の HIV 感染と行動のモニタリングに関する研究

分担研究者/研究担当者：荒川創一（神戸大学医学部附属病院感染制御部）、立山由紀子、木原正博（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野）

研究協力者：安田晶子（吉尾産婦人科医院）、澤村正之（新宿さくらクリニック）、佐々木 寛（佐々木医院）、伊藤雅康（岐阜泌尿器科）、波多野紘一（波多野泌尿器科皮ふ科医院）、和泉孝治（いずみレディースクリニック）、渡辺朝香（渡辺医院）、野村真康（野村クリニック）、下垣博義（しもがき泌尿器科クリニック）、澤田益臣（レディースクリニックさわだ）

研究要旨

全国 10 の STD クリニックを受診した患者（男女）及びセックスワーカー（CSW）を対象として、希望者に無料 HIV 抗体検査を提供し、HIV 感染の浸透度を検討した。対象者は、STD 感染不安もしくは定期検診のために受診した者とし、同意を得て HIV 抗体検査、HIV 検査ニーズ及び HIV 関連知識に関するアンケート調査を行った。

平成 28 年 9 月 15 日から平成 29 年 2 月 28 日の間に連続サンプリングした。10 医療機関から症例が集まり、アンケート回答者は、男性 110 例、女性 62 例、CSW375 例で合計 547 例であった。うち HVI 検査受検者は、男性 84 例、女性 62 例、CSW357 例で合計 503 例であった。

HIV 抗体陽性者は、男性 2 名（2.4%）に検出された。アンケート分析（n=547）の結果、HIV 検査目的以外で受診した例は、男性患者 88.2%、女性患者 58.1%、CSW41.1%であったが、無料検査希望者は、90%近くと高率であった。HIV 受検経験者の割合は、男性患者 13.6%、女性患者 45.2%、CSW61.6%で、HIV 受検経験者中の複数回経験者は、それぞれ、20.0%、89.3%、76.7%であった。HIV 感染リスク認知が「全くない or 低いと思う」と回答した者は、男性患者 70.9%、女性患者 51.7%、CSW45.1%と、リスク認知が不十分な状況が示唆された。HIV 関連知識（7 項目）に関しては、正解率 70%以上が多く、知識レベルは一般に低くはないが、3 グループとも、「性感染症に罹っていると HIV に感染しやすい」、「HIV 検査で感染が分かった場合、名前や住所が国に報告される」の正解率は低かった（それぞれ、51-67%、21-32%）。以上より次の点が示唆された。

- (1) 男性患者に HIV 感染者が 2 名（2.4%）検出された。この値は、過去ほぼ一定であり、HIV 流行がエンデミック状態にあることを示唆している。今後の継続観察が必要である。
- (2) 無料 HIV 検査へのニーズが全国的に非常に大きく、無料 HIV 検査提供の意義が改めて示された。
- (3) STD クリニック受診者の間には、「性感染症に罹っていると HIV に感染しやすい」という予防上重要な知識の普及が不十分であり、今後の啓発の重要性が示唆された。

1. 研究の背景と目的

わが国において、HIV 感染者報告数は依然として明確な減少傾向は見られず、AIDS 患者の発生も先進国としては異例に未だ減少傾向がみられていない[1]。特に後者は、HIV に感染しても検査を受けることなく潜在している感染者が多いこと、つまり HIV 検査体制が不十分であることを示唆するものとなっている。わが国の HIV 感染者/AIDS 患者報告例中、性感染例は約 90%を占めており、こうした性感染 HIV 症例の発見効率を高めることは、より正確な HIV 流行の現状把握と予防促進に役立つという意味で、我が国のエイズ対策において、極めて重要な意義がある。

この意味で、性行為による疾患を扱う STD クリニックは、潜在 HIV 感染者がアクセスする可能性が最も高い場所として、国際的にもエイズ対策上重要な位置づけを与えられているが、わが国では、STD クリニックを検査機会として位置づける施策は実現していない。こうした背景を踏まえ、本年度は、昨年度に引き続き、受診者（男女外来患者と検診に訪れた CSW）に無料 HIV 抗体検査を提供して、HIV 感染率のモニタリングを継続することとし、かつ、受診者の HIV 検査ニーズや HIV 関連基本知識の普及状況を把握するためのアンケート調査を実施した。

2. 対象と方法

(1)対象者とサンプリング

- ① 外来患者：北海道(1)、東京(2)、岐阜(4)、大阪(3)において STD 外来をもつ合計 10 医療機関を平成 28 年 9 月 15 日から平成 29 年 2 月 28 日の間に受診した患者
- ② 上記期間中、定期検診（HIV 検査を含む）を目的に来所した女性セックスワーカー。
- ③ サンプリングは、上記①、②とも、連続サンプリングとし、20 歳以上

の成人を対象とした。研究期間中に、割り当てたサンプル数に達した医療機関では、その時点でサンプリングを打ち切った。

(2) 方法

- ① 上記の対象者の同意を得て、血液による無料 HIV 抗体検査を行った。
- ② 全受診者に対して、HIV 検査ニーズ及び HIV 関連基本知識に関するアンケート調査を依頼した。
- ③ HIV 検査が陽性であった症例に対しては、確認検査を行い、専門の医療機関を紹介した。

(3) 倫理的配慮

HIV 検査結果は、各参加施設から陽性数のみを報告してもらい、研究班レベルでは、個人の特特定できないよう配慮した。アンケートは、無記名で、検査とは全くリンクできない形で収集した。本研究は、2015 年度に、神戸大学大学院医学研究科等医学倫理委員会の変更承認（注：研究実施期間の変更のみ）を受けた（受付番号 1671）。

3. 結果

研究期間中に、10 医療機関で 503 名が研究で提供した無料の HIV 検査を受検し、547 名がアンケート調査に参加した。

(1) 無料 HIV 検査結果

無料 HIV 検査受検の内訳は、から症例が集まり、集まった症例数は、男性患者例、女性患者例、CSW 例で合計 503 例であった。男性外来患者（以下、男性患者）84 名、女性外来患者（以下、女性患者）62 名、女性セックスワーカー（以下、CSW, commercial sex worker）357 名であり、男性患者 2 名（2.4%）に HIV 抗体陽性者が認められた。

(2)アンケート調査結果：単純解析

表 1 は、対象群別に、基本的質問項目に対する回答を比較したものである。年

年齢構成は、男性患者が全年齢に比較的に分散していたのに対し、女性患者及びCSWは約40%が30歳未満の若い年齢層に分布していた。

性感染症罹患経験は、男性患者49.1%であったが、女性患者とCSWではそれぞれ85.5%、81.3%であった($P<0.05$)。HIV検査を希望して来院した参加者は、男性患者11.8%、女性患者40.3%であったが、CSWでは57.6%であった($P<0.05$)。無料HIV検査希望者は、男性患者74.5%、女性患者90.3%、CSW93.3%と、どの群でも極めて高かった。これまでにHIV検査受検経験がある者は、男性患者13.6%、女性患者45.2%、CSW61.6%で、男性患者では低率であった。受検経験者のうち、過去に複数回検査を受けたことがある者の割合は、男性患者で20.0%、女性患者で89.3%、CSWで76.7%であり、3回以上は、男性患者で13.1%、CSWで65.4%、女性患者は全員であった。HIV感染へのリスク認知が低い者（「全くない」もしくは「低いと思う」と回答した者）の割合は、男性患者で70.9%、女性患者で51.7%、CSWで45.1%であり、どの群でもかなりの割合に上ったが、男性患者では、他の群よりもリスク認知が高い傾向があった。

表2は、性感染症の罹患経験の年齢層別分析の結果を示したもので、男性患者では年齢が上がるほど、女性患者とCSWでは若いほど高率である傾向があったが、全ての群において年齢層間に有意差はなかった。

表3は、罹患経験者における性感染症の種類を示したもので、男性では、最も多い性器クラミジアが57.4%、最も低い梅毒で7.4%であり、女性患者、CSWでは、約70%に性器クラミジアの罹患経験があった。女性患者とCSWでは、性器ヘルペスが約25%以上と高く、淋病は男性患者、CSWで35%以上と高率であった。

表4は、来院時にHIV検査を予定していた参加者の割合の年齢分布を示したもので、男性患者ではどの年齢層でも1-2割前後がHIV検査を予定して来院していたが、女性患者とCSWでは、年齢が上がるほど高率である傾向があった。

表5は、来院時HIV検査を希望していなかった人の中で、その場で提供された無料HIV検査を希望した人の割合を示したものである。男性患者で70%以上、女性患者とCSWでは85%以上が希望し、無料検査へのニーズが極めて高いことが示された。この傾向は、2施設を除いて、どの参加医療機関でも見られた。

表6は、受診者における直近のコンドーム使用状況を示したものである。直近の性行為でコンドームを使用したと回答したものは、男性患者と女性患者は年齢が若いほど高率である傾向があり、CSWではどの年齢層でも約48-62%であった。どの郡においても年齢層間に有意差が見られなかった。

表7は、HIV関連知識についての質問に対する回答の分布を示したものである。質問1「最近わが国のエイズウイルスの感染経路は性行為によるものが最も多い」、質問3「エイズウイルスに感染している妊婦から赤ちゃんにエイズウイルスが感染する可能性がある」、質問5「性感染症はオーラルセックスで感染することがある」については、全てのグループで76-85%と高い正解率を示したが、質問2「治療薬の進歩で、エイズウイルスに感染してから発病するまでの期間を遅らせることができるようになった」、質問4「性感染症(性病)にかかっていると、エイズウイルスに感染しやすい」、質問6「保健所では名前を言わずに無料でエイズ検査ができる」は、女性患者で正解率が約50%前後とやや低く、また質問7「エイズ検査で感染がわかった場合、名前や住所が国に報告される」は、全群で、21-32%台と特に低率であった。

考察

(1) 来院者の HIV 抗体陽性率について

厚生労働科学研究費補助金のエイズ対策研究事業における STD クリニック来院者の HIV 抗体陽性率のモニタリングは、平成 15 年度から開始されているが、平成 15-17 年度の 3 年間における HIV 抗体陽性率は、男性外来患者 0.34% (587 例中 2 例) [2]、女性外来患者および女性セックスワーカーでは 0.07% (2672 例中 2 例) と低率であった。しかし、平成 18-20 年度には、女性外来患者および女性セックスワーカーでは陽性者を認めなかったが、男性外来患者では 1.6% (623 例中 10 例) と上昇した [3]。その後、21 年度は 1.5% (4/263)、22 年度は 1.6% (2/122)、23 年度、24 年度は、其々 0.87% (2/231)、0.58% (4/685) と、低下しているようにも見えたが、25 年度 0.93% (3/322)、26 年度 3.33% (6/180) と再び上昇した。27 年度は陽性者を認めなかったが、28 年度は 2.4% (2/84) と再び陽性者が検出された。特に 24 年度に低率となったのは、参加医療機関がそれまでの関東中心から全国に拡大したため、これまでのデータとは直接に比較することはできない。しかし、この陽性率は、27 年度を除いて、少なくとも保健所等で行われている公的な HIV 検査における HIV 抗体陽性率 (保健所 0.3%) [4] を大きく上回るものであることに変わりはなく、STD クリニックが、HIV 流行の重要なセンチネルサイトであり、かつ潜在する HIV 感染者を掘り起こし、治療と予防につなげる上で重要な場所であるというこれまでの結論が、HIV 無料検査の高いニーズからも、改めて確認された。

(2) アンケート調査の結果について

本年度も STD クリニック来院者の HIV 検査ニーズと HIV 関連知識の普及状況を調べるためのアンケート調査を実施した。これまでの調査で、STD クリニック受診者の無料 HIV 検査ニーズが極めて

高いことを示してきたが、本年度も、希望率は、85% 近くと極めて高く、STD クリニック受診者の中では無料検査希望が依然として強いことが示された。わが国の HIV 検査体制は、保健所に大きく依存しているが、保健所等における公的 HIV 検査は、2008 年をピークに低下し、かつ AIDS 患者報告数は、多剤併用療法が利用できる先進国としては異例に、多剤併用療法開発後も減少していない。これは、現行の HIV 検査体制が不十分で早期発見・治療に結びついていないことを示しており、こうした現状が続けば、HIV 流行の潜在的な拡大が続き、また、感染者にとっても、AIDS を発症してから発見されるという予後の観点から望ましくない事態が続くことになる。以前の調査で、保健所の平日検査や夜間休日検査を希望する者 STD クリニック受診者は、概ね 10% 未満と少ないことが判明しており、保健所検査では、高リスク層を効率的に把握できない可能性が高い。保健所依存体制を脱却し、STD クリニックを、高リスク層に効率的にアクセスできる新たな HIV 検査機会として、行政的な位置づけを行うことが期待される。40% 前後の成人が HIV 検査を受け、年間 HIV 検査数が 1600 万件から 2200 万件に及ぶと推定されている米国では、HIV 検査は、44% が民間医療機関、22% が病院等で行われており、公的なクリニックでの検査は 9% に過ぎない [5]。我が国も、保健所等を中心とする検査体制の見直しが必要である。

また、本年度も、HIV 関連知識に関する質問を導入したが、STD 患者にとって最も重要な情報である「性感染症(性病)にかかっていると、エイズウイルスに感染しやすい」という知識が、5-6 割程度にしか普及していないこと、保健所における無料匿名検査の情報が、まだ十分に普及していないことが示唆され、STD クリニックを拠点とした普及啓発の意義を示唆するものとなった。

引用文献

1. エイズ発生動向委員会. 平成 26 年エイズ発生動向年報
2. 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の動向と予防モデルの開発・普及に関する社会疫学的研究」平成 15 年度～17 年度総合報告書
3. 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染の動向と影響及び政策のモニタリングに関する研究」平成 18-20 年度総合研究報告書
4. 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究平成 21 年度報告書
5. 米国疾病管理予防センターWeb サイト
([http://www.cdc.gov/hiv/topics/testing/ resources/ slidesets/pdf/testing_healthcare.pdf](http://www.cdc.gov/hiv/topics/testing/resources/slidesets/pdf/testing_healthcare.pdf))
平成 24 年 5 月 8 日アクセス

表1. アンケート調査参加者の属性等

項目	男性外来患者 (n=110)		女性外来患者 (n=62)		セックスワーカー (n=375)		合計 (n=547)		P値	
	n	%	n	%	n	%	n	%		
年齢	<30歳	40	36.4	26	41.9	172	45.9	238	43.5	0.040
	30-39歳	32	29.1	19	30.6	116	30.9	167	30.5	
	40-49歳	23	20.9	12	19.4	70	18.7	105	19.2	
	50歳以上	15	13.6	4	6.5	16	4.3	35	6.4	
	無回答・不明	0	0.0	1	1.6	1	0.3	2	0.4	
	合計	110	100	62	100	375	100.1	547	100	
性感染症罹患経験	あり	54	49.1	53	85.5	305	81.3	412	75.3	<0.001
	なし	47	42.7	9	14.5	64	17.1	120	21.9	
	わからない	8	7.3	0	0.0	5	1.3	13	2.4	
	無回答・不明	1	0.9	0	0.0	1	0.3	2	0.4	
	合計	110	100	62	100	375	100	547	100	
本日のHIV検査予定	はい	13	11.8	25	40.3	216	57.6	254	46.4	<0.001
	いいえ	97	88.2	36	58.1	154	41.1	287	52.5	
	無回答・不明	0	0.0	1	1.6	5	1.3	6	1.1	
	合計	110	100	62	100	375	100	547	100	
本日の無料検査受検希望	はい	82	74.5	56	90.3	350	93.3	488	89.2	<0.001
	いいえ	28	25.5	4	6.5	17	4.5	49	9.0	
	無回答・不明	0	0.0	2	3.2	8	2.1	10	1.8	
	合計	110	100	62	100	375	99.9	547	100	
これまでのHIV検査経験	あり	15	13.6	28	45.2	231	61.6	274	50.1	<0.001
	なし	94	85.5	34	54.8	140	37.3	268	49.0	
	無回答・不明	1	0.9	0	0.0	4	1.1	5	0.9	
	合計	110	100	62	100	375	100	547	100	
過去のHIV検査受検回数 (対象:検査経験者のみ n=274)	1回	11	73.3	2	7.1	50	21.6	63	23.0	<0.001
	2回	1	6.7	0	0.0	26	11.3	27	9.9	
	3回以上	2	13.3	25	89.3	151	65.4	178	65.0	
	無回答・不明	1	6.7	1	3.6	4	1.7	6	2.2	
	合計	15	100	28	100	231	100	274	100.1	
直近の性行為でのコンドーム使用	はい	39	35.5	13	21.0	208	55.5	260	47.5	<0.001
	いいえ	64	58.2	46	74.2	155	41.3	265	48.4	
	おぼえていない	6	5.5	2	3.2	10	2.7	18	3.3	
	無回答・不明	1	0.9	1	1.6	2	0.5	4	0.7	
	合計	110	100.1	62	100	375	100	547	99.9	
リスク認知	まったくない	10	9.1	4	6.5	22	5.9	36	6.6	0.002
	低いと思う	68	61.8	28	45.2	147	39.2	243	44.4	
	中くらいと思う	28	25.5	15	24.2	135	36.0	178	32.5	
	高いと思う	1	0.9	14	22.6	65	17.3	80	14.6	
	無回答・不明	3	2.7	1	1.6	6	1.6	10	1.8	
	合計	110	100	62	100.1	375	100	547	99.9	

表 2. 性感染症罹患経験の年齢分布

年齢区分	男性外来患者(n=110)								合計	P値	女性外来患者(n=62)								合計	P値	セックスワーカー(n=375)								合計	P値
	あり		なし		わからない		無回答				あり		なし		わからない		無回答				あり		なし		わからない		無回答			
	n	%	n	%	n	%	n	%			n	%	n	%	n	%	n	%			n	%	n	%	n	%	n	%		
<30歳	13	24.1	22	46.8	5	62.5	0	0.0	40	0.101	20	37.7	6	66.7	0	0.0	0	0.0	26	0.479	143	46.9	28	43.8	1	20.0	0	0.0	172	0.527
30-39歳	18	33.3	11	23.4	3	37.5	0	0.0	32		17	32.1	2	22.2	0	0.0	0	0.0	19		93	30.5	21	32.8	1	20.0	1	100.0	116	
40-49歳	14	25.9	8	17.0	0	0.0	1	100.0	23		11	20.8	1	11.1	0	0.0	0	0.0	12		55	18.0	12	18.8	3	60.0	0	0.0	70	
50歳以上	9	16.7	6	12.8	0	0.0	0	0.0	15		4	7.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4		13	4.3	3	4.7	0	0.0	0	0.0	16	
無回答・不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		1	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1		1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	

表 3. これまでに罹患した性感染症（罹患経験有りのみ n=412・複数解答）

性感染症罹患経験	男性外来患者 (n=54)		女性外来患者 (n=53)		セックスワーカー (n=305)		P値
	n	%	n	%	n	%	
性器クラミジア	31	57.4	41	77.4	223	73.6	0.038
性器ヘルペス	8	14.8	13	24.5	87	28.7	0.095
梅毒	4	7.4	5	9.4	22	7.3	0.927
淋病	19	35.2	2	3.8	131	43.2	<0.001
コンジローマ	7	13.0	9	17.0	40	13.2	0.775
口腔感染症	0	0.0	0	0.0	10	3.3	0.143
その他	0	0.0	2	3.8	20	6.6	0.124
病名不明	6	11.1	1	1.9	7	2.3	0.015
合計	75		73		540		

表 4. 来院日における HIV 検査予定の有無の年齢分布

年齢区分	男性外来患者(n=110)							合計	P値	女性外来患者(n=62)							合計	P値	セックスワーカー(n=375)							合計	P値
	はい		いいえ		無回答		はい			いいえ		無回答		はい		いいえ			無回答								
	n	%	n	%	n	%	n			%	n	%	n	%	n	%			n	%	n	%					
<30歳	7	53.8	33	34.0	0	0.0	40	0.627	7	28.0	19	52.8	0	0.0	26	0.002	91	42.1	79	51.3	2	40.0	172	0.527			
30-39歳	3	23.1	29	29.9	0	0.0	32		8	32.0	11	30.6	0	0.0	19		70	32.4	43	27.9	3	60.0	116				
40-49歳	2	15.4	21	21.6	0	0.0	23		8	32.0	4	11.1	0	0.0	12		44	20.4	26	16.9	0	0.0	70				
50歳以上	1	7.7	14	14.4	0	0.0	15		2	8.0	2	5.6	0	0.0	4		10	4.6	6	3.9	0	0.0	16				
無回答・不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		0	0.0	0	0.0	1	100.0	1		1	0.5	0	0.0	0	0.0	1				

表 5. 来院目的が HIV 検査でなかった受診者 (n=287) における無料検査希望者の割合

本日の無料検査希望	男性外来患者 (n=97)		女性外来患者 (n=36)		セックスワーカー (n=154)		合計 (n=287)		P値
	n	%	n	%	n	%	n	%	
はい	70	72.2	31	86.1	143	92.9	244	85.0	0.002
いいえ	27	27.8	4	11.1	9	5.8	40	13.9	
無回答	0	0.0	1	2.8	2	1.3	3	1.0	

表 6. 直近の性行為におけるコンドーム使用状況の年齢分布

年齢区分	男性外来患者(n=110)								P値	女性外来患者(n=62)								P値	セックスワーカー(n=375)								P値			
	はい		いいえ		忘れた		無回答			合計	はい		いいえ		忘れた		無回答		合計	はい		いいえ		忘れた		無回答		合計		
	n	%	n	%	n	%	n	%			n	%	n	%	n	%	n			%	n	%	n	%	n	%			n	%
<30歳	18	46.2	21	32.8	0	0.0	1	100.0	40	0.236	8	61.5	17	37.0	1	50.0	0	0.0	26	0.101	101	48.6	64	41.3	6	60.0	1	50.0	172	0.770
30-39歳	9	23.1	22	34.4	1	16.7	0	0.0	32		3	23.1	15	32.6	1	50.0	0	0.0	19		56	26.9	56	36.1	3	30.0	1	50.0	116	
40-49歳	6	15.4	14	21.9	3	50.0	0	0.0	23		2	15.4	10	21.7	0	0.0	0	0.0	12		40	19.2	29	18.7	1	10.0	0	0.0	70	
50歳以上	6	15.4	7	10.9	2	33.3	0	0.0	15		0	0.0	3	6.5	0	0.0	1	100.0	4		10	4.8	6	3.9	0	0.0	0	0.0	16	
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		0	0.0	1	2.2	0	0.0	0	0.0	1		1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	

表 7. HIV 関連知識質問に対する回答結果

	男性外来患者(n=110)								女性外来患者(n=62)								セックスワーカー(n=375)								P値
	正しい		正しくない		わからない		無回答		正しい		正しくない		わからない		無回答		正しい		正しくない		わからない		無回答		
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
1.最近、わが国のHIV感染経路は性行為によるものが最も多い(O)	86	78.2	4	3.6	20	18.2	0	0.0	51	82.3	3	4.8	8	12.9	0	0.0	301	80.3	13	3.5	60	16.0	1	0.3	0.936
2.治療薬の進歩で、HIVに感染してから発症するまでの期間を遅らせることができるようになった(O)	81	73.6	2	1.8	27	24.5	0	0.0	32	51.6	7	11.3	22	35.5	1	1.6	251	66.9	14	3.7	109	29.1	1	0.3	0.013
3.HIVに感染している妊婦から赤ちゃんにHIVが感染する危険性がある(O)	84	76.4	6	5.5	20	18.2	0	0.0	50	80.6	0	0.0	12	19.4	0	0.0	292	77.9	8	2.1	74	19.7	1	0.3	0.406
4.性感染症に罹っていると、HIVに感染しやすい(O)	74	67.3	7	6.4	29	26.4	0	0.0	32	51.6	8	12.9	21	33.9	1	1.6	238	63.5	25	6.7	108	28.8	4	1.1	0.342
5.性感染症はオーラルセックスで感染することがある(O)	94	85.5	4	3.6	12	10.9	0	0.0	49	79.0	2	3.2	10	16.1	1	1.6	319	85.1	13	3.5	41	10.9	2	0.5	0.777
6.保健所では名前を言わずに無料でエイズ検査ができる(O)	63	57.3	5	4.5	42	38.2	0	0.0	32	51.6	4	6.5	26	41.9	0	0.0	231	61.6	19	5.1	124	33.1	1	0.3	0.733
7.HIV検査で感染がわかった場合、名前や住所が国に報告される(X)	18	16.4	36	32.7	56	50.9	0	0.0	9	14.5	13	21.0	39	62.9	1	1.5	55	14.7	79	21.1	240	64.0	1	0.3	0.097